明治36年 創始

第107回

栃木県誕生150年・足利花火大会創始120年記念

足利花火大会

令和5年 8月5日(土)

於:渡良瀬川田中橋下流
午後7時15分～8時45分

プログラム

参加花火師（順不同）

須永花火田島煙火工場（栃木県足利市）／㈱田熊火工（栃木県野木町）／㈲大吉エンタープライズ（栃木県佐野市）／㈲関口煙火工場（栃木県栃木市）
㈱戸沢火工工場（栃木県栃木市）／㈲菅野煙火店（福島県川俣町）／㈲菊屋小幡花火店（群馬県高崎市）
※天候等の状況により打上時間・順番が変わる場合があります。

打上時間	スポンサー	花火仕様	花火師
七時一五分	開会・挨拶		
七時二〇分	足利商工会議所 議員・会員事業所	ワイドスターマイン	関口煙火
七時二三分	（一社）足利市観光協会	スターマイン	須永花火田島煙火
七時二五分	㈱トーコー技研	スターマイン	田熊火工
七時二八分	足利市農業協同組合	スターマイン	須永花火田島煙火
七時三分	㈱テラトレーディング	5号玉100発連続打上げ	菅野煙火
七時三五分	イースターヴィレッジを応援する皆さん	スターマイン	須永花火田島煙火
七時三九分	オイレス工業㈱足利工場	尺玉	菊屋小幡花火
七時四二分	三和シャッター工業㈱	スターマイン	大吉エンタープライズ
七時四六分	㈱レンタルのニッケン	スターマイン	戸沢火工
七時五〇分	足利赤十字病院	日本の名玉（尺玉10発）	菊屋小幡花火
七時五四分	大協建設㈱・関総エンジニアリング㈱	スターマイン	須永花火田島煙火
七時五八分	㈱スタイリッシュハウス	スターマイン	戸沢火工
八時〇一分	わたらせテレビ㈱	スターマイン	須永花火田島煙火
八時〇四分	フジセン技工㈱	スターマイン	関口煙火
八時〇七分	お祝い花火	尺玉（5発）	菊屋小幡花火
八時一一分	アキレス㈱	スターマイン	戸沢火工
八時一四分	ハウスギャバン㈱	スターマイン	須永花火田島煙火
八時一八分	あもかがフラワーパーク	スターマイン	田熊火工
八時二二分	㈱深井製作所	スターマイン	須永花火田島煙火
八時二六分	日本製紙㈱足利工場	日本の名玉（尺玉10発）	菊屋小幡花火
八時三〇分	㈱石井機械製作所	スターマイン	大吉エンタープライズ
八時三四分	菊地歯車㈱	スターマイン	田熊火工
八時三八分	西毛マグネット販売㈱ ㈱板通 足利山山信用金庫 柳田メディア㈱ 菊地歯車㈱	スターマイン	須永花火田島煙火
八時四〇分	【特別企画】ナイアガラ・ワイドスターマイン	スターマイン	須永花火田島煙火
八時四五分	閉会・電光雷		

日本の名玉（尺玉）

日本煙火芸術協会に加盟している全国屈指の花火師が制作した名玉花火を打ち上げます。

〔七時二〇分〕
昇錦朴付　夕映えの椰子　青木　昭夫（長野県）
昇曲導付　マジック牡丹　小口　友義（静岡県）
昇曲付　万華鏡　磯谷　尚孝（愛知県）
昇曲付　茜空　小松　忠信（秋田県）
昇朴付　花毎の月　小泉　英一（新潟県）
昇木場付　マーガレットの花　篠原　茂男（長野県）
昇小花　芯入5色染分ダリア　細谷　圭二（東京都）
昇朴付　大白菊の花　菅野　俊宏（福島県）
昇朴付　三重芯越後の向日葵　本田　正憲（新潟県）
昇朴付　虹の華　野村　陽一（茨城県）

〔八時一二六分〕
ヤシ芯翡翠をちりばめたキラキラ千輪　齋藤健太郎（秋田県）
昇曲付　虹色のブーケ　齊木　克司（山梨県）
昇朴付　晩夏の轟き　阿部　正明（新潟県）
昇朴付　芯入時差式発光牡丹　那須野　大（長野県）
昇朴付　錦輪菊千輪　小勝　康平（東京都）
昇曲付　芯入グラデーション　齊木　智徳（山梨県）
モノクロームの金華　小幡　知明（群馬県）
昇曲導付　天空のユートピア　今野　義和（秋田県）
昇曲付　八重芯銀点滅　山崎　智弘（茨城県）
昇朴付　八重芯錦冠菊　田村　幸夫（長野県）

お祝い花火（順不同・敬称略）

足利市民や足利市にゆかりのある皆さまの「お祝いごと、感謝の気持ち、願いごと」を祝って打ち上げます。

〔八時〇七分〕
展大・なる・実久仁
これからも元気に成長してね
佐藤　武士（東京都・西東京市）
地域の皆様の安全と健康を祈念して
両毛丸善株式会社（足利市・問屋町）
創業7周年を記念して
ジェットブラックフラワーズ合同会社（足利市・山川町）
地域社会の為　国の為　世界中の幸福の為　奉仕活動
"WeServe"「我々は奉仕する」
私たちと奉仕活動いっしょに行いましょう
足利ライオンズクラブ（足利市・八幡町）

足利花火大会名誉委員長
足利市長
早川尚秀

足利市の一大イベントであり、関東有数の歴史を誇る「第107回足利花火大会」が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

今年は、栃木県誕生150年・足利花火大会創始120年の記念すべき大会です。開催にあたり関係者の方々が熱心に準備されたとうかがい、この花火大会が参加する全ての皆様にとってこの夏最高の思い出として心に刻まれることを願っております。

また、足利市には深い歴史、豊かな文化、美しい山々や河川など素晴らしい地域資源があり、四季折々のイベントが満載です。特に足利花火大会は、当日はもちろん前日からの関連イベントや翌日の清掃作業まで、市民の皆様の多大なる御支援により作り上げられています。1903年から続くこの花火大会を通じ、「誇れるまち足利」を皆様に御堪能いただければ幸いです。

開催に際し、御尽力を賜ります市民の皆様をはじめとする各企業や関係各位の御理解、御協力に深く感謝申し上げます。

結びに、伝統ある足利花火大会が本年も安全に開催され、御観覧いただく皆様が心ゆくまでお楽しみいただけますことを御祈念申し上げます。

足利花火大会実行委員長
足利商工会議所会頭
相馬稔

足利花火大会は、今から120年前の1903年、明治36年に開始されました。大正13年までは旧暦7月7日の七夕の日に開催、その後は織姫神社の祭典に併せて8月7日に行われていました。戦後は広く市民行事に成長し、昭和41年より8月の第一土曜日の開催となり今日へと受け継がれています。花火会場も、中橋を中心に渡良瀬橋と田中橋間で行われてきましたが、安全面から平成5年に現在の田中橋下流へと移動させました。

さて、栃木県誕生150年を記念した本大会は、実行委員会を構成する市役所、商工会議所、観光協会、商業連合会、繊維連合会、農業協同組合、自治会長連絡協議会、坂西商工会、織姫神社奉賛会はもとより、協賛花火をご提供いただく企業の皆さん、寄付金をくださる事業所の方々をはじめ一般市民のご協力により運営されています。このほか、まちじゅう美術館として花火の絵を描いていただく小学生の皆さん、大会当日の防犯・交通警備にあたられる警察官や消防署員、交通指導員、消防団員の皆さん、さらには大会翌日の会場清掃にあたられるボランティアの皆さんなど、多くの方々の努力により支えられ、本年120年目を迎えることができます。この場をお借りいたしまして心協力いただく皆様方に厚くお礼申し上げます。

先人の足利と花火を愛する献身的な取り組みの積み重ねは今を生きる私たち足利人にとって大きな誇りです。これからも花火大会の文化・伝統を継承し、まちの発展に繋げるため、精進して参りますので皆様方のご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

実行委員会からのお知らせ

8月4日午後5時まで有料観覧席以外の場所取りは禁止です。
期限前の場所取りを発見した場合は、実行委員会が撤去・処分いたしますのでご了承ください。